

29. ECT による $^{99m}\text{Tc-PMT}$ 肝摂取率の測定——基礎的検討—— 中村 和義他…892
 30. SPECT による肝有効容積の測定, その2(臨床的検討) 仙田 宏平他…892
 31. 対向型 ECT 装置(島津製)の使用経験
 　——特に診断医の立場から見た特徴と問題点について 上野 恒一他…893
 32. 脳の ECT 像の試み 加藤 孝美他…893
 33. $^{99m}\text{Tc-スズコロイド}$ による肝血流の機能イメージ(Functional image)作成の試み
 　(第1報) 濑戸 光他…893
 34. 心電図同期心プールシンチによる心室性期外収縮の functional image 近藤 武他…894
 35. ^{133}Xe 動注法による脳血流連続測定に与える残存放射能の影響 松田 博史他…894
 36. くも膜下出血後の脳血流に与えるプロスタグランдин E1 の影響 前田 敏夫他…894
 37. 虚血性脳血管障害患者における局所脳血流量測定—— ^{133}Xe 吸入法による検討—— 松田 博史他…895

一般講演

1. TSH RIA kit の基礎的検討 (GammaDab TSH)

柳瀬みき子 金森 勇雄 矢橋 俊丈
 松尾 定雄 吉田 宏 樋口ちづ子
 市川 秀男 木村 得次
 　　(大垣市民病院・特放セ)
 中野 哲 綿引 元 武田 功
 　　(同・二内)
 佐々木常雄 石口 恒男 (名大・放)

今回われわれは GammaDab TSH RIA kit の基礎的検討を行い次のとくの結論を得た。

- 標準曲線：急峻で良好なる勾配の曲線で、再現性(C.V.)も 1.9~20.0% の間にあり良好なる成績が得られた。
- incubation 条件：1st, incubation は 25~37°C, 2 時間。2nd incubation は 37°C, 3 時間。3rd incubation は 37°C, 30 分で良好なる測定結果が得られる。
- 再現性：同時再現性の C.V. は 5.1~6.5% 日差再現性の C.V. は 10.3~16.0% の間にあり、ともに安定していた。
- 回収試験：89.0~105.1% の間にあり良好であった。
- 希釈試験：ほぼ満足すべき直線性が得られた。
- 本法と他の TSH RIA kit との相関：本法と Daiichi kit との相関は、 $r=0.96$ ($p<0.01$, $n=58$), shionogi kit との相関は $r=0.923$ ($p<0.01$, $n=34$) であった。
- 正常域： $10 \mu\text{U}/\text{ml}$ 以下の設定で問題ない。

8) 交叉試験： T_3 , T_4 とも交叉はなかった。

以上のごとく、本法は 1 日の作業時間内に測定値が得られる簡単な方法であり、再現性も優れていると考えられるが、他の RIA kit での測定値と有意に齟齬する検体も認められることから、kit の性能や特徴を十分に把握し使用することが肝要であると考える。

2. TSH RIA kit の基礎的検討(一昼夜法)

樋口ちづ子 金森 勇雄 矢橋 俊丈
 松尾 定雄 吉田 宏 柳瀬みき子
 市川 秀男 木村 得次
 　　(大垣市民病院・特放セ)
 中野 哲 綿引 元 武田 功
 　　(同・二内)
 佐々木常雄 石口 恒男 (名大・放)

今回われわれは、沈澱安定剤を使用して一昼夜にて測定が終了できる TSH kit Pairchi(二抗体法)の基礎的検討を行ったので報告した。

結果

- 標準曲線：各測定濃度における B/Bo (%) の変動係数(C.V.)は 1.3~10.9% の間にあり良好であった。
- Incubation 条件：pre incubation; 3 時間, 25°C
 　1st incubation; 18~24 時間, 25°C
 　2nd incubation, 15~30 分, 25°C
 　上記の設定条件で良好なる測定値が得られる。
- 再現性：同時再現性の C.V. は 5.3~10.5%, 日差